

(牛 舎 へ の 散 布)

2005年1月30日(日)10:00~12:00

(1) 作業目的、施工場所

1) 作業目的

近隣への臭気苦情の軽減(畜産の悪臭処理)、牛への環境改善、堆肥改善などの目的のため、バイオリキッドを散布する。

2) 施工場所: ドーム型牛舎(約100m²程度)

(2) 作業範囲、施工量

試験散布の作業範囲、使用量は、施主立会いのもと確認した上で決定する。使用量については、臭気対策として散布面がしっとりしみこむ程度に散布する。作業範囲は、牛舎全体である100m²の範囲にて散布を行う。

散布量は、堆肥がしっとりなるように水分を多くすることが望ましいが、時期的に冬であり凍結などのおそれがあるため、牛に与える影響を考慮して下記の量を散布した。(実際の試験散布は、表面だけに湿らす程度であった。)

施工量 100m² : 原液 2.5 リットル、水 90 リットル

(3) 散布作業方法

当該対策区間については、施工条件に最も適した液状タイプのバイオリキッドを散布する。施工範囲が小さく凍結防止を踏まえて、ジョウロによる散布を行う。

(4) 臭気判定

下記のとおり、社員や施主による臭気判定を実施する。

第1回	臭気測定	0時間後(散布前)	レベル-1
第2回	臭気測定	1時間後(散布後)	レベル0
第3回	臭気測定	3日後	レベル0

臭気レベル0(においなし) ~ レベル4(においあり)

聞き取り調査結果

4日目(2月3日(木))に聞き取り調査を行った。バイオリキッドを散布した牛糞を直接手にとって匂いを嗅いでみたが、全く無臭であった。(施主にも御確認していただきました。)

また、生産農家であるため、当初から全体の臭気は微量であったが、冬季であり牛への寒さ対策として囲いをしていたにもかかわらず、ほとんど臭気は感じられなかった。

分娩室にもバイオリキッドを散布したが、分娩室の牛糞は除去していることも手助けをして全く臭気は感じられなかった。

